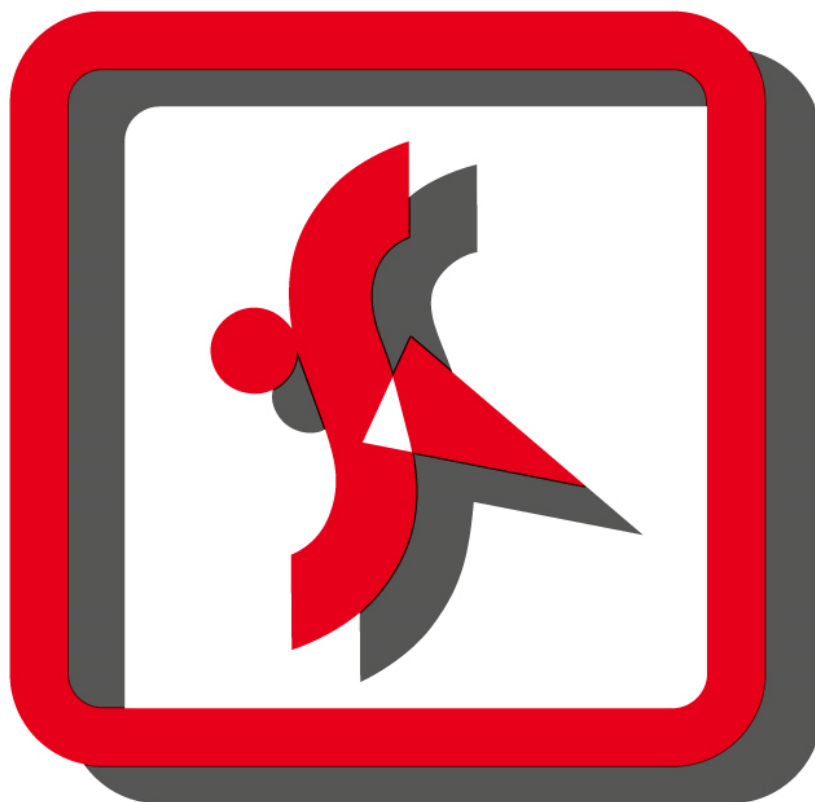


第3回 WING12.6 ワンデザイン全日本選手権大会

大会レポート
11月25日～26日



スポーツ振興基金

独立行政法人日本スポーツ振興センター

はじめに

本大会は、多くの SUP の大会の中で珍しく、ワンデザイン(同一ボード)ということを中心としております。参加者全員フラットな条件で競技し、純粋なパドリング力やマーク回航などで優劣を競うことを目的としております。

レースを行った 26 日は、台風並みの強風が吹き、SUP ではあまり考えられないハードなコンディションの中での大会となりました。暴風の中でのレースとなったので、パドリングの力強さや正確さ、コーナリングの際スピードなど普段の SUP レースでは光らない部分が光ることになりました。

SUP は近年急速に広まり、多くのレースが開催されるようになりました。来年度も SUP の取り巻く状況を見ながら、魅力的なレースをワンデザインに拘りながら、行っていきます。

レポ ー ト

台風並みの強風の中での開催となりました。

少し漕ぐのをやめるとみるみるうちに下がっていくので、一瞬も休めないとてもハードな大会となりました。



短いコースでコーナリングやスピードを競うテクニカルレースです。

人によっては、マークを回れないほど難しいレースとなりました。



持久力を競うログコースです。今回は風を考慮し、3キロまで短くし、行いました。向かい風の時などは、次のマークまで永遠と感じるほど大変なレースとなりました。

